

# 令和6年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 27 ） 学校名 豊田市立中金小学校

## 1 テーマ

地域に学び、ふるさとを愛する中金っ子の育成  
～地域の教育力を活かした学校づくりの推進～

## 2 ねらい

本校は、豊かな自然と伝統ある文化に恵まれた校区を有し、地域との結びつきも強い。そこで、地域の力を活かし地域に学ぶことによって、「ふるさと中金」を大切に思い自ら行動する子どもを育成する。

- ・地域の環境や文化、歴史等を対象とした学習を展開することを通して、地域のよさに気づかせ、地域を大切に思う子どもを育成する。

- ・地域の人から学ぶことを通して、学習を深めるとともに地域の人への感謝の気持ちをもち、それを表す子どもを育成する。

- ・地域で暮らす人々との交流体験を通して、互いを理解し地域を支える市民として生きていこうとする力を育む。

- ・図書館資料の活用を推進することで、調べ学習の充実を図ったり、表現力を高めたりすることを目指す。

## 3 活動内容

- ・地域講師から無農薬有機栽培について学び、その学びを活かした野菜の栽培
- ・「南山」「カ石川」での草木や生き物の観察と「中金ホタル保存会」と連携した地域ぐるみのホタルの飼育活動
- ・図書館司書を活用した授業の展開と、児童への読書指導
- ・学んだことを地域の人々や保護者に向けて発表する「学習発表会」の実施
- ・お世話になった地域の人々へ感謝の気持ちを伝える活動  
(感謝の手紙作成・地域ボランティアの活動紹介等)
- ・地域の自然や文化を体得する全校児童による「中金地区・ふるさと遠足」の実施

訪問場所	地域講師数	学習内容
JA あいち豊田 中金支店 (中金小体育館で実施)	5	JAの業務の概要 金融とは？ JA中金支店と地域の関係について
JA あいち豊田 ギャラリー	1	世界の子どもたち (中金から見た世界の子どもたちについて)
消防団詰所	3	消防団について 詰所内設備・施設見学

岩倉神社	2	石野歌舞伎について
西中金駅	4	西中金駅舎の歴史

- ・地域講師による伝統芸能「石野歌舞伎」と「中切棒の手」と和楽器（琴）の体験

体験内容	実施学年	地域講師との 練習回数	地域講師数	発表方法
石野歌舞伎	5・6年	2時間×10回	5～6人	学習発表会で保護者や 地域の人々に披露
中切棒の手	1・2年	2時間×6回	3人	学習発表会で保護者や 地域の人々に披露
和楽器(琴)	5・6年	2時間×4回	4人	150周年記念式典で保 護者や地域の人々に披 露

- ・「中金ホタル保存会」と連携したホタルの飼育・保全活動

活動内容	対象者	回数	地域講師数
ホタルの幼虫・カワニナ の飼育活動	4年 保護者（6名）	通年	2人
ホタルの幼虫飼育講座	保護者（6名）	1	1人
ホタルの成虫捕獲	保護者（5名）	1	1人
ホタル観賞会	保護者・児童・地域 （約100名）	1	2人
ビオトープ整備	4年	通年	2人

#### 4 成果と課題

##### （1）成果

- ・南山や力石川での探索、調査や遊びを通して自然に親しむことで、地域の自然のすばらしさを体感し、大切にしようとする気持ちを育てることができた。
- ・地域講師の指導のもと野菜作りを体験することで、食べ物の大切さを知ると共に、地元農家の苦労を実感し、野菜を育てている人々を尊敬する気持ちをもたせることができた。
- ・伝統芸能「石野歌舞伎」と「中切棒の手」を地域講師の指導のもと体験したり、「ふるさと遠足」を実施したりしたことで、ふるさとの歴史や自然について学び、ふるさとを大切に思う気持ちを育てることができた。  
また、体得した「石野歌舞伎」や「中切棒の手」を学習発表会で披露することにより、本校の児童だけでなく保護者や地域の方々にも郷土の伝統芸能について興味・関心をもってもらえた。
- ・図書館司書を積極的に授業等で活用したことで、読書の楽しさを知り、読書の幅を広げることができた。また、資料として活用する方法も学ぶことができた。

- ・心の相談員には、クラスで心配な児童に寄り添い、心のケアをしっかりとしていただいた。校内整備員には、校舎内外問わず隅々まで丁寧に整備をしていただき、非常に助かった。
- ・地域からの要望で学校・保護者・地域で発足した「中金ホタル保存会」の活動が今年から始まり、軌道に少しずつ乗せることができた。

## (2) 課題

- ・「石野歌舞伎」や「中切棒の手」「琴」等の体験、南山や力石川の探索やホタルの飼育、野菜の栽培など、特色ある学校づくり推進事業が児童にも保護者、地域にも情宣がなされ、本校の教育活動として定着しつつある。毎年、繰り返し行っていくことで、もっとよい活動にしたい、もっといろんなことがしたい、といった意欲も高まってきている。限られた予算をいかにうまく使うかを考えると同時に、限られた予算の中で何ができるのかを検討していく必要がある。
- ・150周年記念事業の一環として学校ビオトープが本校に設置された。地域の自然環境を再現する場とし、ビオトープを中心とした「ホタルの舞う学校」づくりを地域・保護者・学校が今以上に連携して進めていく必要がる。

## 5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・特色ある学校づくり推進事業で行われた活動について、その都度ホームページに載せた。
- ・学校だよりや学年通信で、学校や学年の取組を紹介した。  
(保護者アンケート 平均3.6)
- ・保護者や学校運営協議会委員（各自治区区長、民生児童委員、学校アドバイザー等）に学習発表会と称して、特色ある学校づくり推進事業の取組に関する発表（全学年）を行った。
- ・昇降口に特色ある学校づくり（ふるさと学習）の掲示コーナーを設け、各活動の様子を写真で紹介した。